

アンケート編

1 市民・事業者意識調査

(1) 調査の概要

ア 調査目的

市民・事業者意識調査は、ごみ減量とリサイクルに関する市民・事業者の意識と日常の行動状況、市の施策や廃棄物処理のあり方に関する意見、要望等について把握するとともに、ごみ処理に関する課題を明らかにし、平成 28 年度からの計画として新たに策定する「宇都宮市一般廃棄物処理基本計画」へ反映させることを目的として実施しました。

イ 調査対象

	市民	事業者
①調査地域	宇都宮市全域	
②調査対象者	市内在住 20 歳以上の男女	市内事業所（小・中規模事業所を対象）
③調査対象数	2,500 世帯	500 事業所

【単純無作為抽出による標本誤差 F の算定】

$$F = 2 \cdot \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{(1-P)P}{n}}$$

	市民	事業者
N: 母集団の成員数	20 歳以上の男女=421,815 人 (平成 26 年 3 月末現在)	市内事業所数 (22,131 事業所)
n: 標本数	2,500 世帯	500 事業所
P: 母集団の調査事項 に対する調査結果の比率	0.5	0.5
F: 標本誤差	F≒2.0% (48~52%) (※調査結果が 50%だった場合、真の値が 95%の確率で存在する範囲)	F≒4.4% (45.6~54.4%)
使用データ	住民基本台帳データ（外国人含む）	タウンページ、ホームページ等 から事業者候補を抽出
抽出方法	住民基本台帳データに基づき②に 該当する市民の中から無作為抽出	事業者リストを作成し、事業所別 に無作為抽出

ウ 調査項目

	市民意識調査	事業者意識調査
1	回答者の属性 (性別、年齢、職業など)	事業所の属性 (業種、形態、所在地、従業員数など)
2	ごみ減量化・資源化への取り組みについて (関心度、情報源、減量・リサイクル取組)	ごみの発生量や処理方法・処理費用について (ごみ発生量、支払金額、処理・処分状況)
3	宇都宮市がごみを減らすために取り組んでいる ことについて (市の取組内容の認知度)	ごみの適正処理について (共同処理について)
4	生活排水について (生活排水の状況、必要性、転換促進)	ごみの減量化・資源化について (理由、情報源、取組内容、課題点など)
5	自由意見 (宇都宮市のごみ行政全般についてご意見・要望などについて)	

エ 調査期間 (平成 27 年 7 月 17 日 (金) ~ 7 月 31 日 (金) まで)

オ 調査方法 (郵送によるアンケート調査)

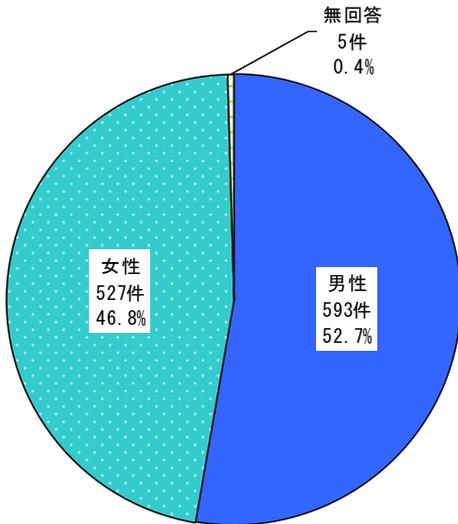
カ 回収結果

回収件数 (回収率)	市民: 1,125 件 (45.1%)	事業者: 195 件 (39.0%)
------------	---------------------	--------------------

キ 市民意識調査結果の概要

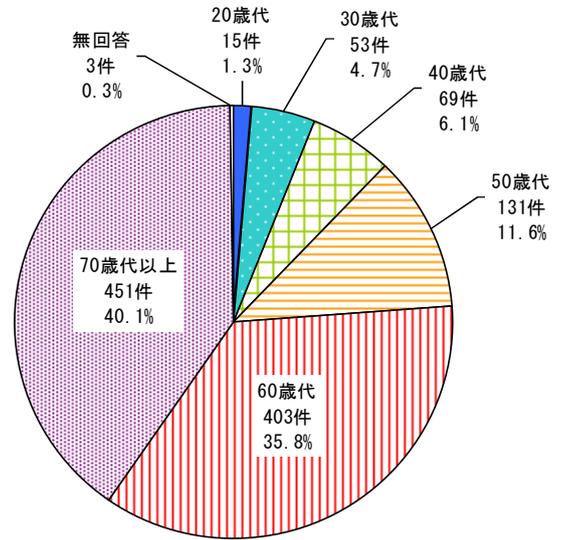
1) 回答者の属性

①性別



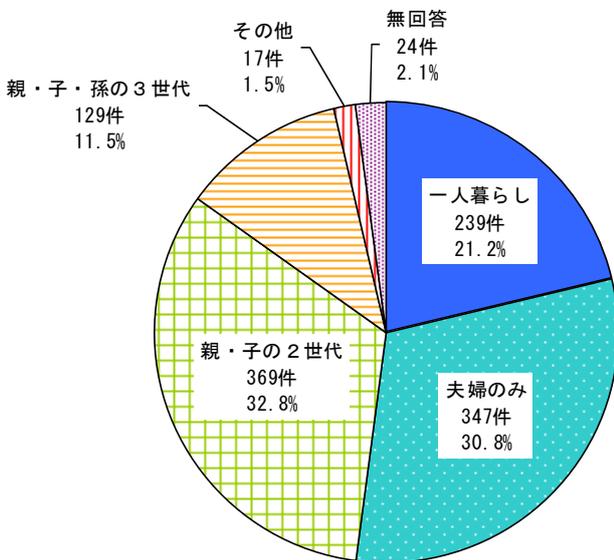
N= 1,125件

②年代

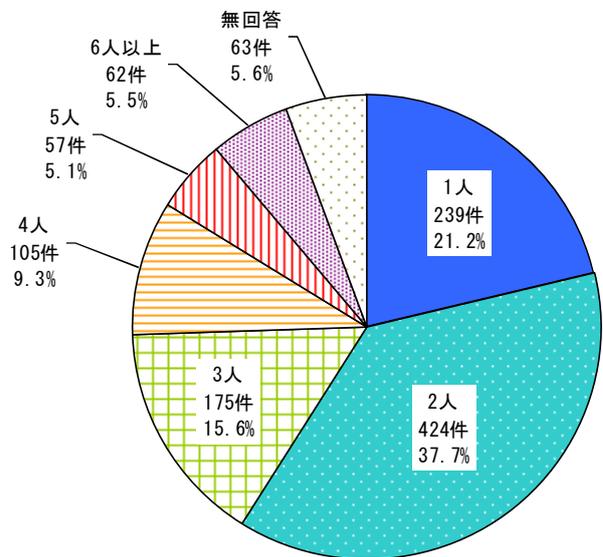


N= 1,125件

③世帯構成

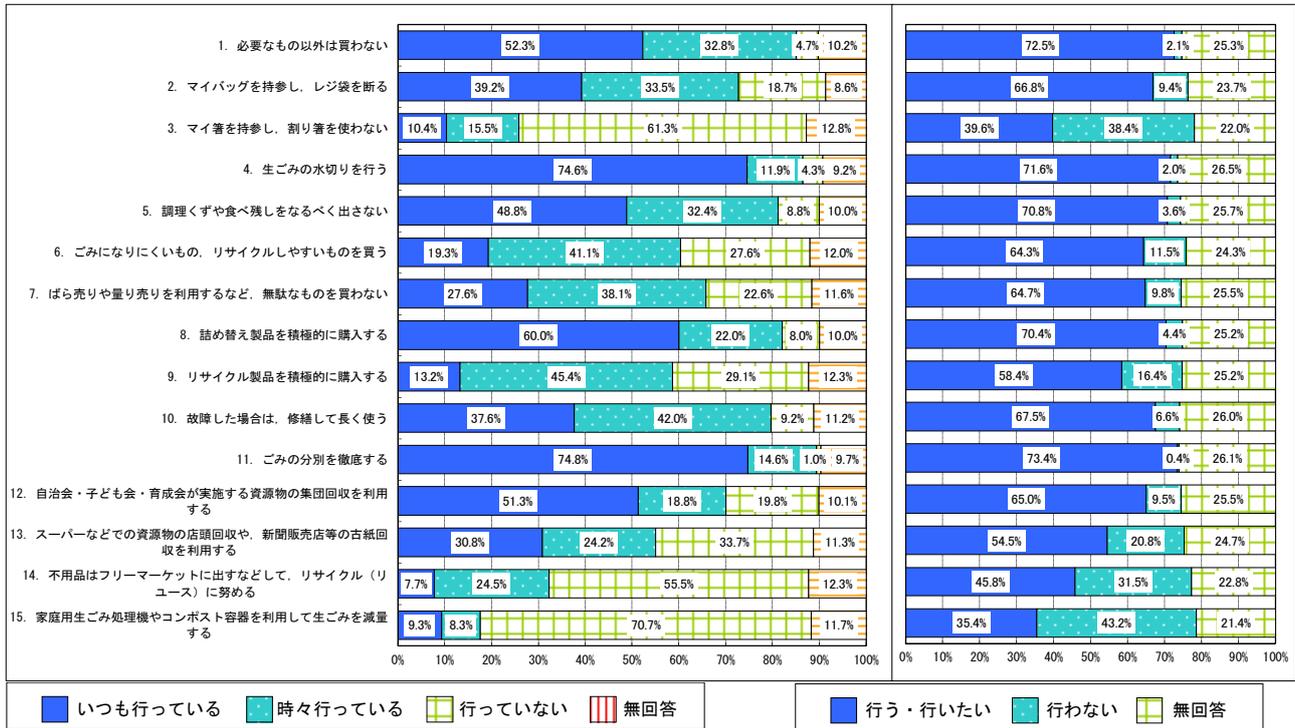


N= 1,125件

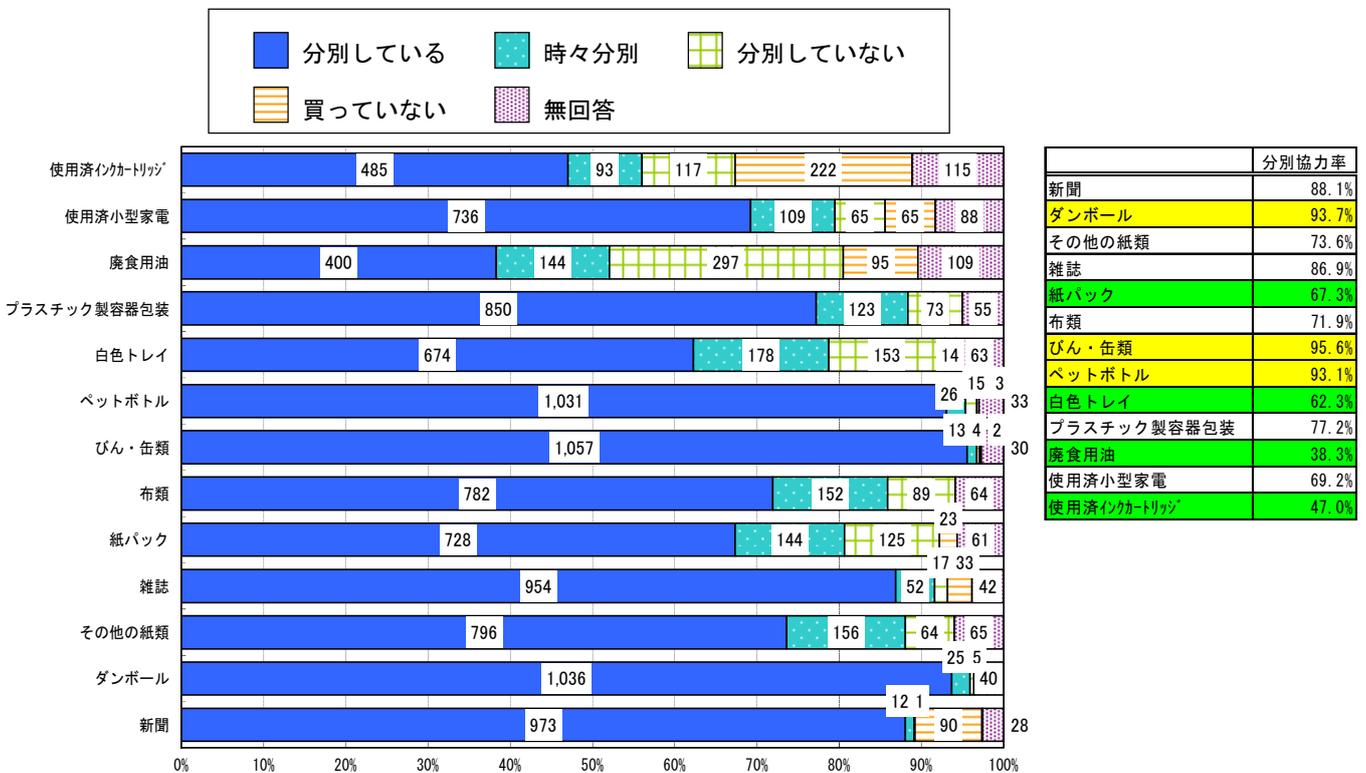


N= 1,125件

2) 3R行動の取組状況

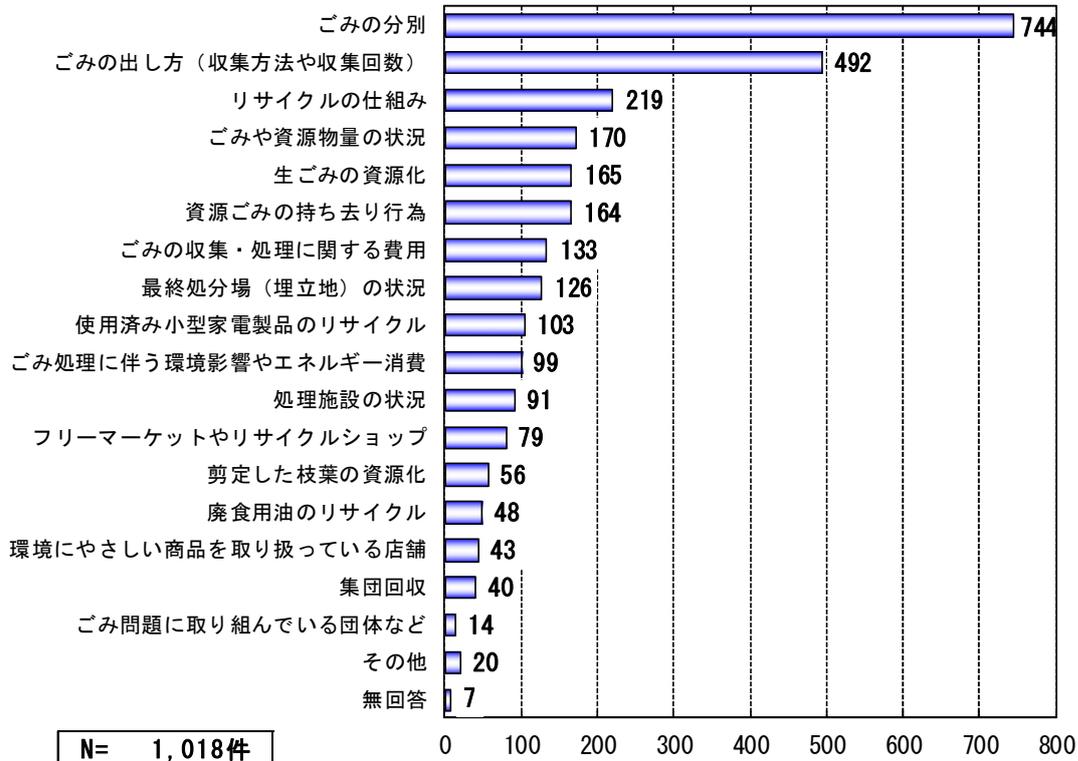


3) 資源物の分別協力度



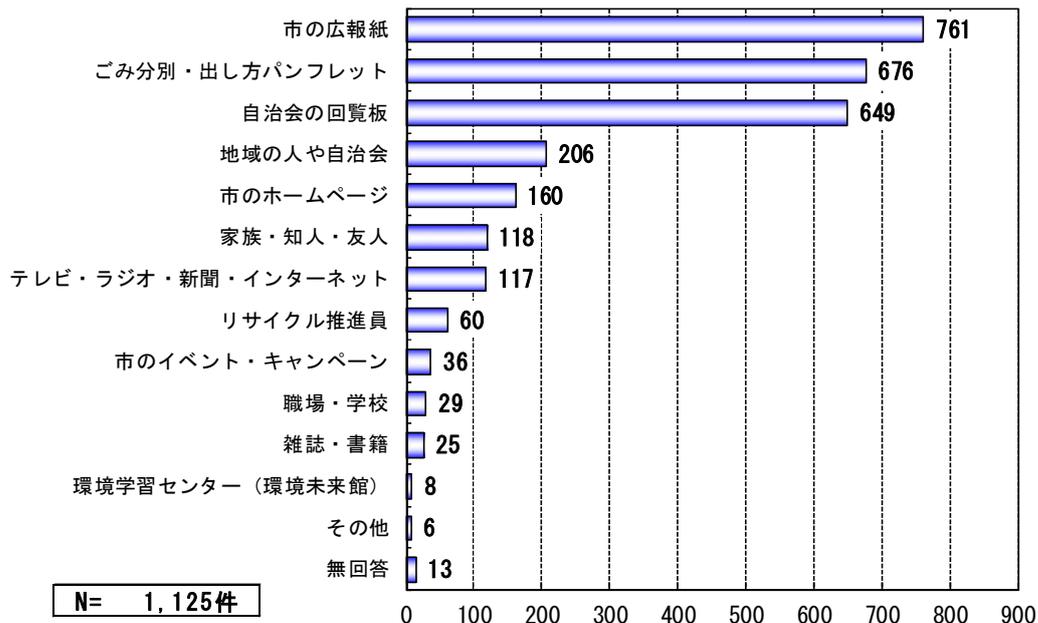
ポイント⇒ 分別に対する協力度は非常に高い

4) ごみの関心事項



ポイント⇒ 分別や排出方法に対する関心は高いが、2R（リデュース、リユース）に対する関心は低い

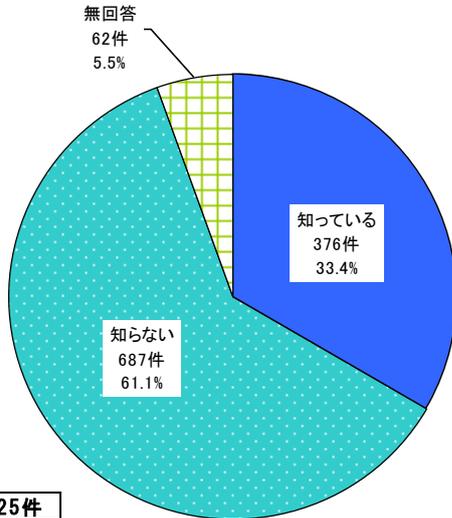
5) ごみに関する情報収集手段



ポイント⇒ 市の発行冊子や自治会回覧からの情報収集が多い

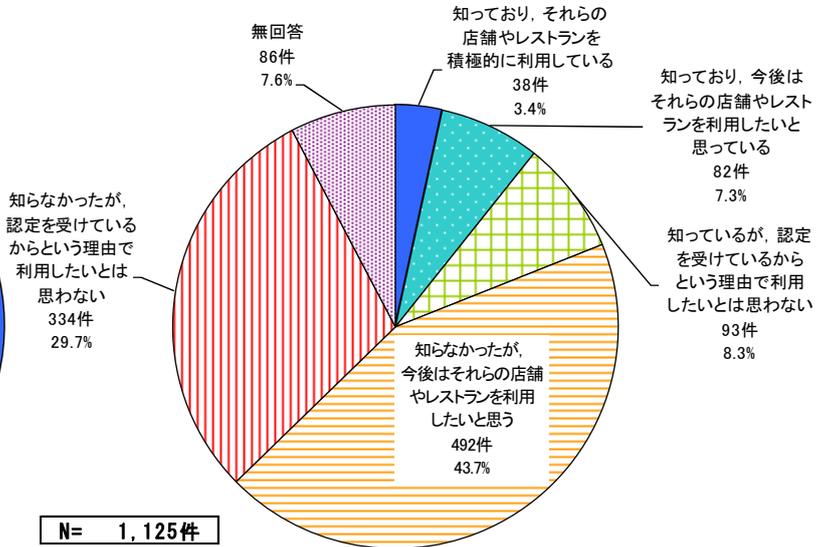
6) 施策・事業の認知度

① リサイクル推進員の認知度



N= 1,125件

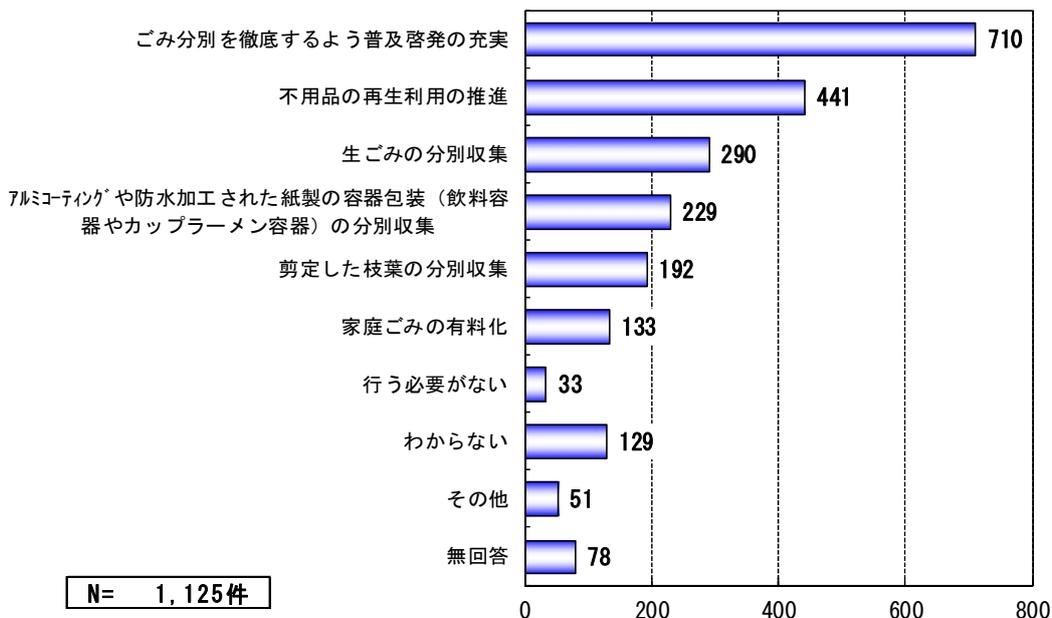
②エコショップ認定制度の認知度



N= 1,125件

ポイント⇒ 一部の事業（リサイクル推進員制度，エコショップ認定制度）において認知度が低い

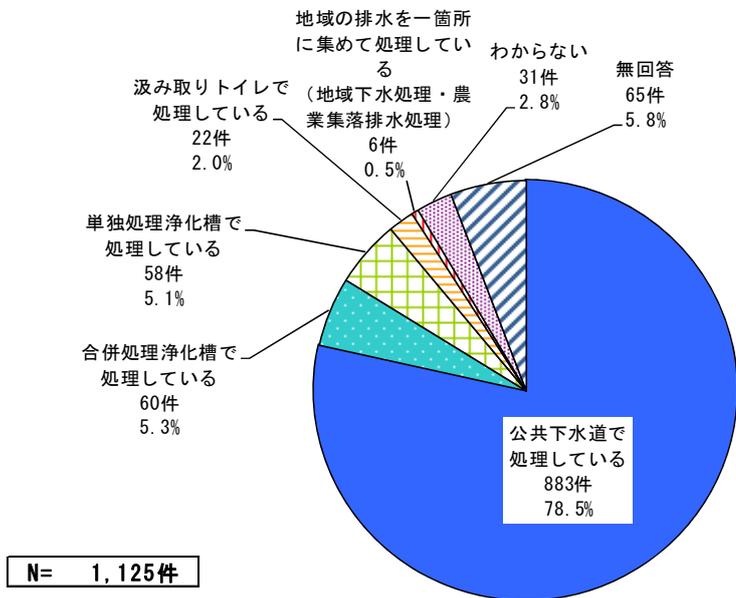
7) 3R推進のために取組むべきと思われる事項



N= 1,125件

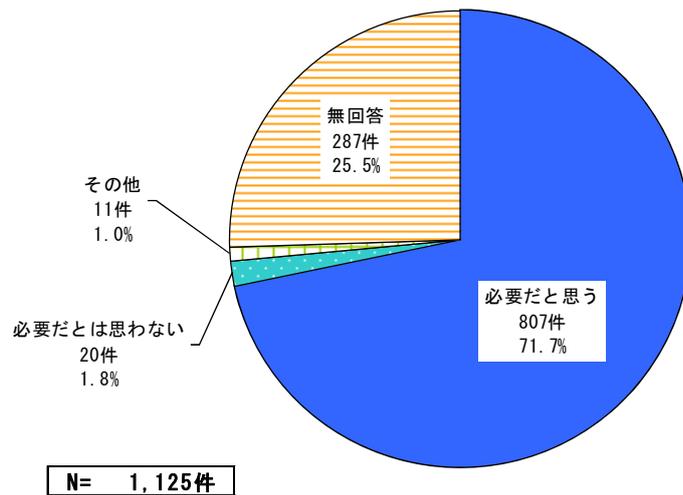
ポイント⇒ 分別徹底の普及啓発の充実が必要との意見が多い

8) 生活排水処理施設について



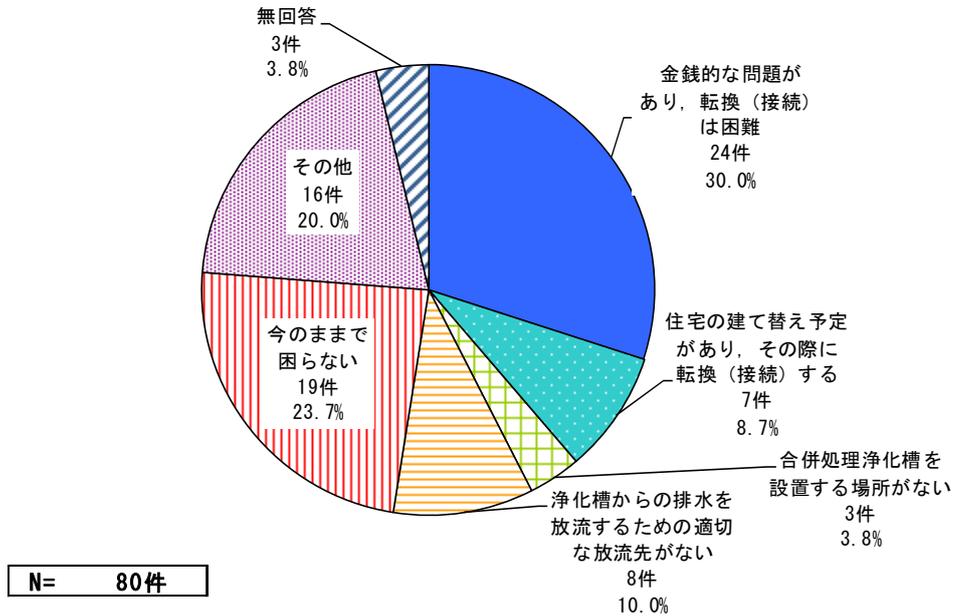
ポイント⇒ 自宅での生活排水の処理方法に対する認識が低い

9) 下水道や合併処理浄化槽が果たす役割について



ポイント⇒ 生活排水処理施設は、水環境保全のために必要であるとの認識が高い

10) 公共下水道への接続や合併処理浄化槽への転換を行わない理由

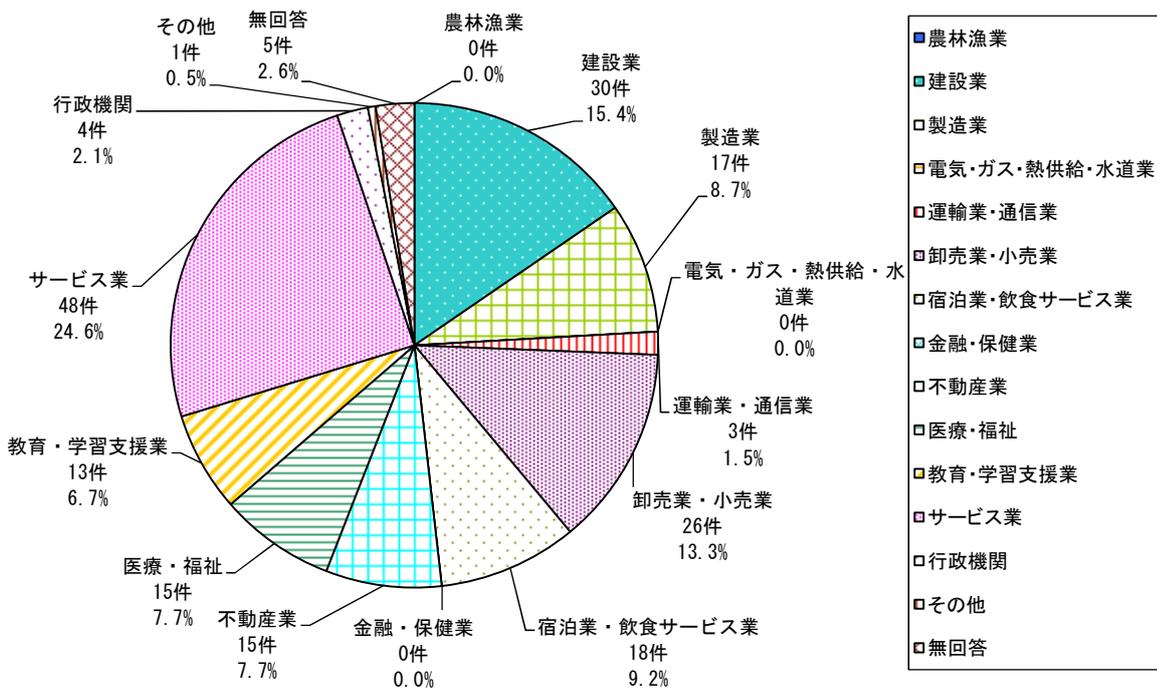


ポイント⇒ 公共下水道への接続や合併処理浄化槽への転換を行わない理由として、経済的な問題や今の生活で困らないなどが多い。

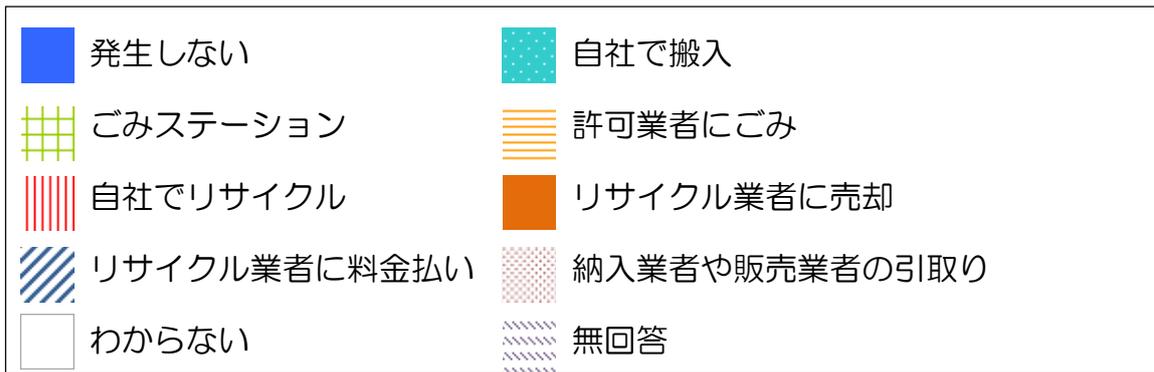
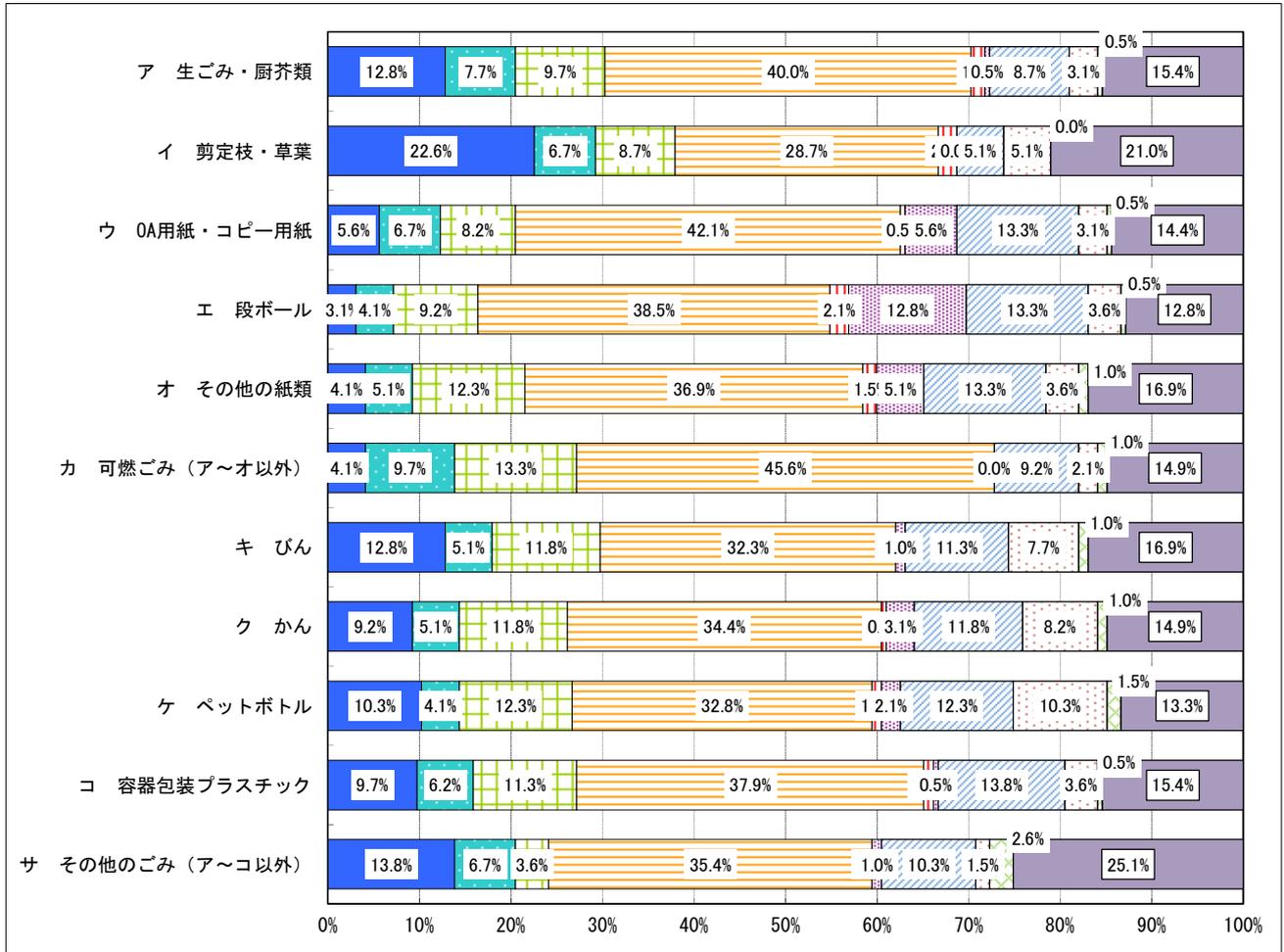
ク 事業者意識調査の結果概要

1) 回答者の属性

①業種

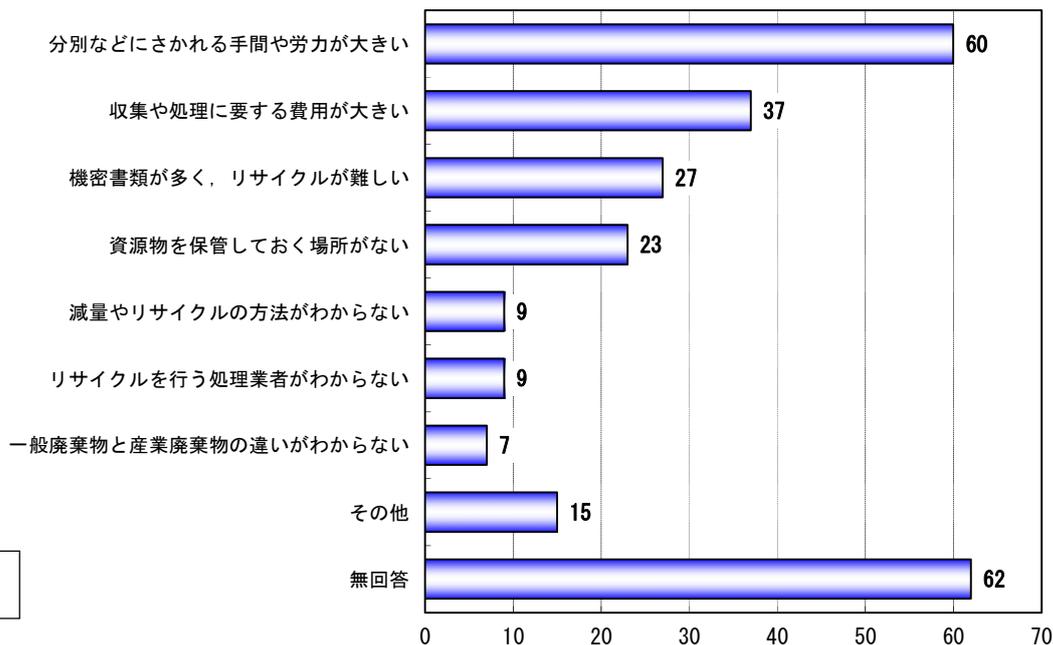


2) 事業系ごみの排出・処理状況



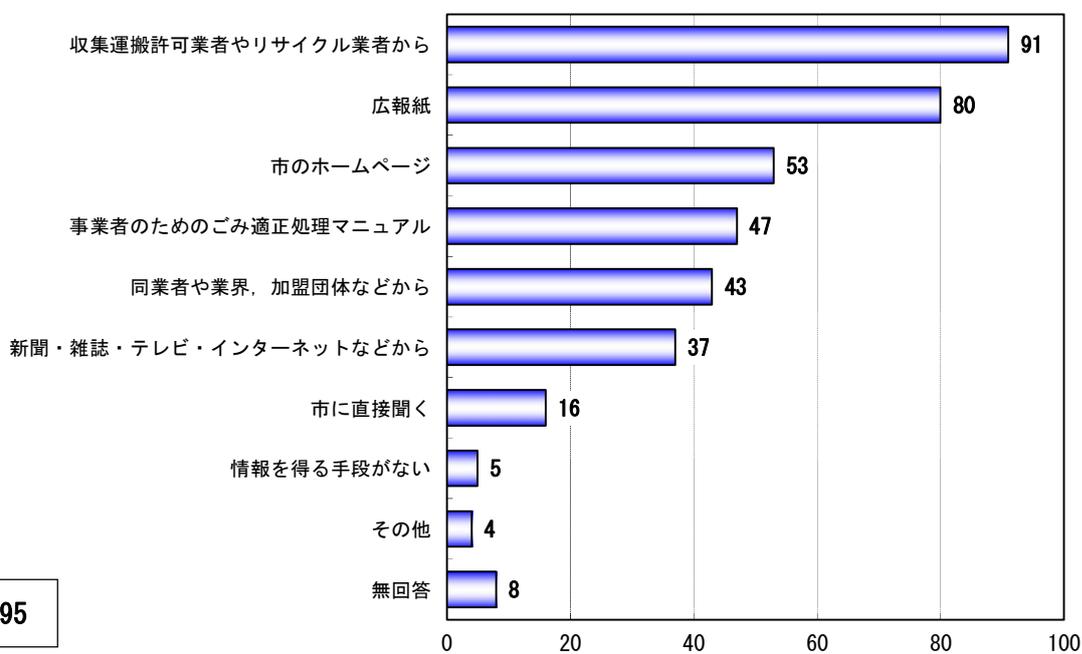
ポイント⇒ 1割前後の事業者がごみステーションへの排出を行っている

3) ごみの減量やリサイクルの取組における問題点



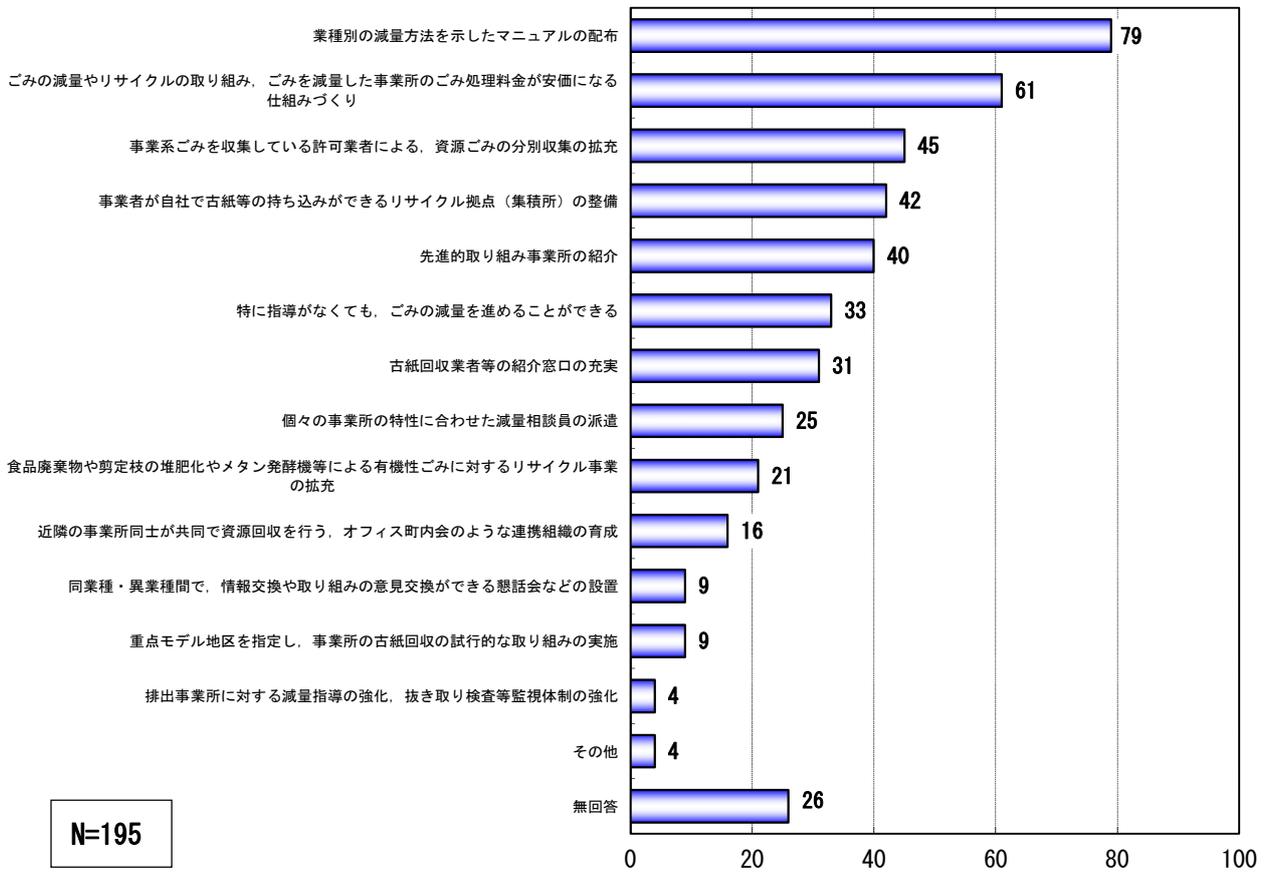
ポイント⇒ 労力面や経済面からの問題を挙げる事業者が多い

4) ごみやリサイクルに関する情報収集方法



ポイント⇒ 収集運搬業者などから情報収集している事業者が多い

5) ごみ減量化推進のために必要と思うこと



ポイント⇒ ごみに関する更なる情報の充実や新たな取組のニーズが高い



もったいないの約束

宇都宮に住み、学び、働く私たちは、地球上にあるすべてのものに、

尊敬と感謝の気持ちを持ち、ひとやものを大切にする

「もったいない」のこころを育てています。

このまちの古き良き歴史や恵み豊かな環境をはぐくみ、

かけがえのない美しい地球を未来につないでいくため、

これからも「もったいない」のこころを広げ、日々、行動することを約束します。

1 私たちは、互いに尊敬し、思いやりをもってふれあいます。

2 私たちは、すべてのものに感謝して、その価値を十分にいかします。

3 私たちは、宇都宮の素晴らしさをみがき、未来に誇れるまちをつくれます。

平成21年9月27日約束

宇都宮市もったいない運動市民会議・宇都宮市

宇都宮市一般廃棄物処理基本計画

発行日：平成28年3月

発行：宇都宮市

〒320-8540

栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号

TEL：028-632-2415

FAX：028-633-3316

URL：<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>

E-Mail：u0716@city.utsunomiya.tochigi.jp